

幼稚園の在り方に関する区民等との意見交換会実施結果概要及び論点整理

本委員会における幼稚園の在り方に関する調査・検討に資するため、以下のとおり区民等との意見交換会を開催した。

1 私立幼稚園児の保護者との意見交換会

(1) 開催日時

令和6年12月13日（金） 午前9時30分～午前10時45分

(2) 参加者

私立幼稚園児の保護者 5人 ※公募による

墨田区議会放課後対策・幼稚園の在り方調査特別委員会委員 8人

(3) 内容・テーマ

私立幼稚園児の保護者世帯への支援・補助の在り方に関して区に対して望むこと

(4) 意見交換会の概要

9：30 開会、委員長あいさつ、出席者紹介

9：35 2グループに分かれての意見交換

10：15 グループごとにあった意見を紹介

10：20 全体での質疑・意見交換

10：30 委員長あいさつ、閉会

2 区立幼稚園児の保護者との意見交換会

(1) 開催日時

令和6年12月13日（金） 午前11時00分～正午

(2) 参加者

墨田区立幼稚園保護者の会連絡協議会 10人

墨田区議会放課後対策・幼稚園の在り方調査特別委員会委員 8人

(3) 内容・テーマ

区立幼稚園の現状とその在り方について区に対して望むこと

(4) 意見交換会の概要

11：00 開会、委員長あいさつ、出席者紹介

11：05 2グループに分かれての意見交換

- 11 : 45 グループごとにあった意見を紹介
- 11 : 50 全体での質疑・意見交換
- 12 : 00 委員長あいさつ、閉会

～ 意見交換会における主なご意見と論点整理は次のとおり ～

1 私立幼稚園児の保護者との意見交換会における主なご意見

私立幼稚園児の保護者世帯への支援・補助の在り方に関して区に対して望むこと

【Aグループ】

- ・ 以前に比べて補助を手厚くしてくれているのは大変ありがたいと思っているが、ほかの区ではどんどん補助が拡大されている。
- ・ 給食費と特定負担額の補助がないのは墨田区だけで、ほかの区は何かしらの補助があり、安い区の人だと月1,200円で済むのに、墨田区の人には1万5,000円も払っている。
- ・ 物価高が家計の負担として大きくのしかかっている、月1万数千円の差というのは本当に厳しい。今後、それが第二子、第三子と重なってくるのであれば、葛飾区や足立区、荒川区へ転居することも検討せざるを得ないと思っている。
- ・ 墨田区の中にいたらほかの区との差を感じることはなく、不満に思っていなかったかもしれないが、ほかの区と差があることをインターネットや口コミなどで知ったときに、どれだけの人が墨田区に住み続けたいと思うのか疑問だ。
- ・ ママ友と話をしていると、墨田区での子育ては厳しいという声がだんだん増えてきているように感じる。なかなか表面化はしないが、ママ友のネットワークで広がっていることはとても多いので、そういったことも考慮してほしいと思う。
- ・ 墨田区で生まれ育ったので、「墨田区、いいよ」と言いたいのが、子育ての面では今のところは葛飾区のほうがいいのかもしいないかと思ってしまっている。
- ・ 子どもを通わせている葛飾区の私立幼稚園は、園児のほぼ半数が墨田区の子だった。これは墨田区としてもったいないことだと思うので、もっと墨田区の私立幼稚園を充実させてほしい。
- ・ 墨田区の私立幼稚園は情報発信が弱いと感じる。葛飾区の私立幼稚園はインスタグラムをこまめにアップしているので、園の様子がよく分かる。ホームページの更新もきちんとされていて親しみやすい。
- ・ ホームページに募集要項と年間行事しか掲載されていない幼稚園が多いが、例えば写真が添えてあるだけで文字だけではない情報が得られる。初めて幼稚園を選ぶとなったときに、そういったところで大きく差が開くと思う。
- ・ 何とかしてパートを見つけて保育園に預けようという人が多い。実際はパートが先か保育園が先かという話で、乳幼児が家にいては働きに出るのは難しい。
- ・ 葛飾区の幼稚園では毎日5時か6時まで預かり保育があって、長期休暇中も預かってくれる。預けられないのは年末年始だけで、子どもを幼稚園に通わせていてもパートぐらいならできる。
- ・ 八広地域に園バスを走らせている幼稚園が少なく、選択肢が少ない。調べてみたら葛飾区の私立幼稚園が八広地域に園バスを走らせていることを知って、そちらに入れることにした。

- ・ 保育園は保育料も給食費も無料となると、私立幼稚園に通わせるメリットが少ないと感じる。預かり保育も高い、園バスもないとなれば、幼稚園によほどの魅力がないと思うが、そこまでの幼稚園がない。
- ・ 区内の私立幼稚園に見学に行ったが、園舎が古いと感じた。また、園庭は広いが、遊具があまり充実していない印象だった。
- ・ 園舎の建て替えに伴う仮移転場所を区が確保して、園舎の建替えを促していけば、子どもたちは新しくてきれいな幼稚園に通えて、通わせたいと思う保護者も増えていくのではないか。

【Bグループ】

- ・ ほかの区の人と比べると、月々にかかる費用が全然違うので、もう少し支援をしてほしい。せめて給食費くらいは無償化してほしい。ほかの区は昨年からの補助が始まっていて、今は墨田区の人だけ払っている感じになっている。
- ・ 園バスについて、兄弟割などを検討してほしい。
- ・ 幼稚園にかかる費用は昨年の時点でも高かったが、新制度への移行に伴って更に 8,000 円ぐらい上がることになり、幼稚園から「墨田区のお母さん方、ごめんなさい」と謝られて、墨田区はいろいろ補助がないということが分かった。
- ・ 葛飾区は修学旅行にかかる費用なども全額補助するといった話を聞いて、うらやましく思っている。子どもが小学校、中学校と上がっていても、墨田区は補助が少ないと感じてしまうと思う。
- ・ 区内の児童館はとても親切で、すごく子育てがしやすいまちだと思っていたら、ほかの区の幼稚園に入ってみて考えが変わってしまった。
- ・ 墨田区より葛飾区の私立幼稚園のほうが、預かり保育も充実している。朝も幼稚園の後も長く預かってくれる。
- ・ 夏休み、冬休みになると、幼稚園に預ける際の料金が倍ぐらいになる。フルタイムで仕事をしている人は、夏休み、冬休みも預けないといけいないので、その辺りの補助も考えてほしい。
- ・ 友達の子どもはみんな年少から幼稚園に入るので3年保育は絶対条件で、区立幼稚園は最初から考えていなかった。
- ・ 葛飾区の幼稚園にしたのは、園バスが通っていることと、プレがたくさんあったため、子どもが合う合わないを判断できたからで、墨田区の私立幼稚園ではあまりプレをやっていないと思う。
- ・ 説明会の日程などが分かりづらい。私立幼稚園だから情報発信についてはそれぞれの園の努力によると思うが、例えば区のホームページで全園の情報を閲覧できると便利だと思う。
- ・ 葛飾区の私立幼稚園には心理士が子どもたちの様子を見に来ていて、定期的にカウンセリングをしてくれて、必要なアドバイスをくれたり相談に乗ってくれたりする。墨田区の幼稚園でも、子どものことについて専門家に気軽に相談できる機会があるといいと思う。

- ・ 保育園がどんどん無償化され、待機児童が減り、子どもを保育園に預けてどんどん働いてといった風潮に、置いてけぼりにされている感覚がある。昔は幼稚園に入れるのがすごく大変だったのに、今は定員割れをしている。こういう状況がすごく悲しいと思ってる。
- ・ 先生の待遇改善のため手厚い補助をお願いしたい。
- ・ 幼稚園に対して、区として思い切った助成をすることで先生たちが潤う、余裕が出る、そこからいい教育ができる、いい先生が集まる、子どもが集まるといういい流れができることが理想的だと思う。
- ・ 墨田区の私立幼稚園はそれぞれ特色があって、その中でどこが合うかを考えるのは大変だが、特色はあればあるほどいい。
- ・ 子どものために3年間、生活をコミットしていくことが前提の幼稚園もある。共働きの家庭が増えて様々な考え方がある中で、それでも子どもの幼児教育について信念のある幼稚園には残ってほしい。
- ・ 幼稚園の特色を生かしつつ、フルタイムで働く家庭でも子どもを通わせたいと思うような状況になればいいと思う。

【全体での質疑応答】

- ・ 区立の公立幼稚園は年中児からの募集だが、年少児から通わせたいという親が多い。周りの子が年少児若しくは満3歳児から幼稚園に入ってしまうと、遊び相手が誰もいなくなってしまう。
- ・ 第二子、第三子がいる場合、全員が家にいるとものすごく大変なので、1年でも早く幼稚園に入りたいから私立幼稚園にという人が多いのは分かる。
- ・ 公立幼稚園に憧れがあって、毎日お弁当を作って、手間暇かけて子どもを育ててみたいという気持ちがあったが、やはり2年保育というところが大きなネックだった。
- ・ お迎えが2時だとしても、その間、少しでも働けるが、2年保育となってしまうと更に1年間働く期間が短くなってしまうので、区立幼稚園は断念した。

私立幼稚園等への支援等に関する論点整理

論点 1 保護者の経済的負担の軽減について

近隣区では給食費及び特定負担額等への補助が行われており、墨田区民が他区の私立幼稚園に子どもを通わせている場合、他区の住民と比べ、実際に支払う額に大きな差が生じている。この状況に対して、どのように考え、どのような支援を行っていくべきか、検討する必要がある。

論点 2 保育サービスの拡充に向けた支援について

共働き世帯の増加や物価高騰といった社会環境の変化に伴い、私立幼稚園における預かり保育の時間延長、長期休暇中の預かり保育の充実、園バスの運行など、保護者への支援、負担軽減を求める声があるが、このことについて行政としてどのような支援の在り方が望ましいか、検討する必要がある。

論点 3 私立幼稚園の魅力向上に向けた支援について

近隣区の私立幼稚園は、心理士の訪問や充実した預かり保育が実施されており、また園舎が新しい、HPやSNSによる情報発信がこまめにされているなど、その質の高さが支持されている。区内の私立幼稚園がよりその特色を生かし、区民から選択されるように、魅力を高めていくためにできることは何か、検討する必要がある。

2 区立幼稚園児の保護者との意見交換会における主なご意見

区立幼稚園の現状とその在り方について区に対して望むこと

【Aグループ】

- ・ 今年度入園した子の親の中で何人か、やはり働きながら通わせるのは難しかったという理由で退園された。こういった状況を改善するためにも、せめて3時まで、可能であれば4時まで、預かり保育の実施をお願いしたい。
- ・ 仕事をしたいという母親は結構いるが、幼稚園は朝9時から2時までなので条件が厳しい。預かり保育については早急に実施してほしい。
- ・ 私立幼稚園では3年保育が主流になっており、同年齢の子どもたちが幼稚園に通っている中、区立幼稚園に通うために1年間待つというのは、親として不安に感じる。区立幼稚園も3年保育にして、区立か私立か、内容で選べるようにしてほしい。
- ・ 3年保育でもない、預かり保育もやっていないのは、墨田区を含めて2区だけになっている。今は共働き夫婦が増えており、2年保育、更に預かり保育もないとなると、区立幼稚園に通わせたいという人は限られてくる。時代のニーズに合っていないと思う。
- ・ 区立幼稚園は私立幼稚園と違って給食が出ないので、毎日お弁当を持たせているが、給食費無償化の流れがある中で、物価も高騰しているので、何かしらの手当てをお願いしたい。
- ・ 小学校併設園では小学校の給食を出してもらえると嬉しい。単独の幼稚園でも、お弁当給食といった形で配食をしてもらえたらいいと思う。
- ・ 入園希望者が集まらなかったら開園しませんでは、申し込むほうとしてもすごく勇気がある。区として、今後、区立幼稚園をどうしていくのか、しっかりとした方針を示してほしい。
- ・ いつか閉園になってしまうかもしれないが、小学校併設園には小学校にスムーズに進学できるといった強みがあるので、そういった幼稚園は残してほしい。
- ・ 閉園となった幼稚園の教職員をほかの幼稚園に配置してもらえると、区立幼稚園全体の質がなお上がっていくと思う。
- ・ 来年度以降も園児が少ないままなのであれば、ほかの園との交流の機会を頻繁に設けてほしい。
- ・ 小学校に上がったときに合わない子がいたらどうしようと思うので、ある程度、集団で揉まれてから小学校に上がってもらいたいという気持ちはある。
- ・ 入園説明会のときに「幼稚園ってどんなところ」という冊子が配られているが、これを見学館や保健センターなどに設置してはどうか。「区立幼稚園ってこんなところなんだ、ちょっと行ってみようか」となるといいと思う。
- ・ 園児が少なくなってしまう、ほとんどの親に保護者会の役員をやってもらわざるを得なくなってしまうと、負担に感じている人もいるだろうと思う。

- ・ 保護者会の役員の業務について、できることとできないこと、必要なことと必要ないことを整理したり、データ化して作業量を減らしたりなどにより業務量を減らし、必要な役員の数を減らしていく努力をしている。
- ・ 保護者会の活動は確かに負担になっているが、この時期にしかない貴重な子どもの様子を見られるといったメリットをアピールしていきたい。
- ・ 幼稚園の先生たちは子どもたちをよく見ていてくれて、集団行動の中でルールを教えつつ、園児一人一人に寄り添った対応をしてくれていると感じている。
- ・ 遊びの中で学んでいくことはすごく重要だと思っており、区立幼稚園では先生や園長がいろいろと工夫してこれを実践してくれているので、そういうところに魅力を感じている。
- ・ 同じクラスに支援が必要な子が何人かいるが、子どもたちはその状況を普通に受け入れていて、先生もよく見守ってくれているので、子どもを預けるほうとしても安心している。

【Bグループ】

- ・ 入園後に親の仕事という理由で何人かが退園した。やはりお迎えが2時というのが厳しい。これがもし3時だったらまだ余裕がある。
- ・ 何で幼稚園に子どもが集まらないかと言えば、やはり共働き夫婦が多くなったからだと思う。預かり保育があったらもう少し働けるのと思う。
- ・ ほかの区でやっているように、ファミリーサポートの事業者と協力して預かり保育を実施してほしい。
- ・ ほかの区では大体給食をやっているのに、何で墨田区ではできないのか。
- ・ 3年保育は絶対に実施してほしい。
- ・ 入園を希望した幼稚園が規定の人数に達していないからほかの幼稚園はどうかと言われたが、だったら最初から募集せず、3園くらいに絞って、ここは人数がそろわなくても開園するとしてくれているならば、幼稚園について調べたことも無駄にならないと思う。
- ・ 来年も再来年ももしかしたら閉園になるかもしれないと言われると、無理やり働きに出て保育園に入れるかという気持ちになる。
- ・ 区立幼稚園の数を減らしていくのであれば、園バスを運行してほしい。
- ・ 園児が減っていて、保護者会の会費が足りるかどうかが心配している。今までどおりイベントを実施できるか分からない。
- ・ 園児が減って、保護者が負担するお金が増えている。移動教室もなしにしてもらった。区の補助もあるが、どうしても足りない。イベントごとはほかの園と合同でやらないと負担が大きすぎる。
- ・ 合同イベントを実施するときは、マイクロバスを出してくれるとありがたい。自転車がない人は朝から子どもを連れて満員電車に乗らなくてはならず、大変な思いをしている。
- ・ 区立幼稚園で実施していることについて、区のほうでも積極的に情報発信をしてほしい。区立幼稚園の情報は特に少ないと感じる。
- ・ 子育て中は忙しいので、いいタイミングで必要な情報を得づらい。気付いたらもう遅いということが多いので、3歳児健診のときや母子手帳をもらいにいくときなど、生活の中

で目に付く形で情報を得られるといい。

- ・ クラスの半分が支援が必要な子という状況で、このまま小学校に上がって大丈夫か不安になる。今後、支援が必要な子を受け入れる人数を定める予定があるのか、私立幼稚園にそういった子を受け入れるよう要望する予定があるのか聞きたい。
- ・ 区立幼稚園のアットホームな雰囲気はとてもよく、先生も園児一人一人をしっかり見てくれている。
- ・ 小学校が併設されている幼稚園なので、小学校に上がる準備できてよい。

【全体での質疑応答】

- ・ 自転車で送迎している人もいるが、そうでない人もいるので、区立も私立も幼稚園は住んでいるところから徒歩 10 分、15 分圏内に一つはあるようにしてほしい。
- ・ 家では偏食の子も給食なら何でも食べようと思うので、食育の観点からも給食を実施してほしい。
- ・ どの園からも延長保育や 3 年保育について要望が上がっているが、現実的に難しいのであれば、幼稚園に通わせながらも働ける仕事を区から紹介してくれたらいいと思う。
- ・ ファミサポの人に家に来てもらうのは少しハードルが高いので、幼稚園のホールや園庭で見ていてくれるようなサービスがあるといい。

区立幼稚園の在り方に関する論点整理

論点1 3年保育・預かり保育・給食（配食）の実施について

共働きの増加や物価高騰とといった社会環境が変化を背景にして、3年保育・預かり保育・給食（配食）の実施について強い要望が寄せられている。区立幼稚園全体の在り方、私立幼稚園との関係なども考慮しつつ、その実施の是非も含め、区としてどのように考え、どのように区民の声に応えていくべきか、検討する必要がある。

論点2 今後の区立幼稚園の在り方について

今後の幼稚園行政の運営方針を固めるとともに、区立幼稚園はどのような役割・位置付けのものであるかを含めた区としての考えを区民に示す時期にある。その上で、個性ある幼稚園づくり、幼稚園同士の交流機会の増加、支援の必要な子どもに対応するインクルーシブ教育の実施、園バスの運行、園の適切な配置など、具体的な方策について検討する必要がある。

論点3 区立幼稚園の魅力や特徴についての積極的な広報について

現在の区立幼稚園に対する評価は非常に高く、区民に対して、その内容や活動をより周知していくことで、子どもの進学先として私立幼稚園もしくは保育園と並び選択肢の一つとなるよう、区立幼稚園に関する効果的な情報発信の在り方について、検討する必要がある。